

長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校だより（3月号）

青空いっぱい

発行責任者：校長 田中昭二

長	長所を伸ばそう
大	大好きなことを見つけよう
と	ともだちとチャレンジしよう
く	くらす力をつけよう
し	しごとをする力をつけよう

祝卒業

本日、卒業証書授与式を行い、小学部3名、中学部6名、高等部8名が卒業しました。本日の式で述べました私の式辞（一部抜粋）を掲載します。卒業生の皆さんの今後のご健康とご活躍を祈念しております。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、日々の生活が大きく変わりました。誰もが不安を抱え、心配な日々を過ごす中、皆さんは、これまでと変わることなく、自分の目標に向かって努力しました。

小学部卒業生の皆さん。

マラソンのときの姿が思い浮かびます。

やる気満々のスタートダッシュ。「やるぞ」と思った瞬間の力強い走り。前に前にと一番を目指して頑張る走り。

3人とも、とても生き生きとしていました。

6年間で、自分でできることも増えました。

これからも、初めてすること、苦手なことがあるでしょう。

でも、まずは、「自分からやってみよう」と思うことが大切です。

「できること」「好きなこと」「得意なこと」をたくさん見つけてください。

中学部卒業生の皆さん。

劇「りんごづくりのジョニー」。学習発表「ふるさと長崎」そして「長崎探究」。

真剣な中にも、楽しく、周りを笑顔にするような演技や発表だったことを思い出します。

友達と助け合い、教え合う姿も忘れません。

また、3年間、学校で毎日続けた朝のランニング。きつくて、もうやめたいと思ったこともあったでしょう。

しかし、心も体も強くなり、今では、力強く走り続けることができるようになりました。

毎日、目標をもち、あきらめなくて続けることの大切さを学んだと思います。

これからも、仲間との絆を大切に、目標に向かって頑張ってください。

高等部卒業生の皆さん。

コロナ禍で世界中が苦しんだ2020年。この一年間を思い出してください。

長崎県内を旅した修学旅行。大きな声援ではなく手拍子で応援した運動会。そして中止となった文化祭。

修学旅行では、不安な気持ちの中、困難な状況を受け入れて仲間とともに前向きに学び合い、最高の思い出ができたことでしょう。

運動会では、校旗、そして赤、白、黄の旗手。選手宣誓、準備運動と整理運動、高等部演技での指揮。皆さんの活躍が光っていました。

そして、高校3年生にとって進路を決めるための最後の現場実習。3年間を通して、いくつかの実習を経験し、その中から自分に合う進路を選び、決めることができました。

これからは、自分の仕事にしっかりと取り組み、また自分の趣味、家族や友達との時間を楽しんでください。

また会える日を楽しみにしています。

教育実習が終わりました

2月9日から始まった教育実習が3月5日に無事に終了しました。13名の教育実習生の皆さんは、児童生徒と熱心に関わり、実地授業や一日担任業務に励まれました。授業を参観しましたが、教材教具がとても丁寧に作成されており、とても感心しました。実習の成果と課題は、一人一人異なると思いますが、個々の学びで終わるのではなく、実習の成果と課題を互いに共有し合い、今回の実習がより深い学びにつながればと切に願っています。大変お疲れ様でした。